

## 事業者向け 児童発達支援 自己評価表・みらい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・ 体育館を備え雨天時にも十分体を動かすことが出来ている。 ・ パーテーション等使うことで区切ったりしながら使用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			多機能事業所の利点を活かし応援体制を必要に応じて活用している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		一部段差等はあるが、肢体の不自由な児童が在籍していない為不便さは感じられない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			担当者が企画・立案し、全職員で完成することによりスムーズに業務改善を行えている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価アンケートにより意向等の調査を行い、面談時等でも直接意向の聴取を実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人ホームページに公開をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価は行っていないが、保護者等の意見を大切に業務改善を常に行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			全員参加の法人研修を年1回実施し、各職員に必要なスキルアップを図る外部研修を全員が受講している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に一回のモニタリング面談等を通して随時適切なアセスメントを実施している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用し、利用児の状況把握に努めている。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインを基に活動全体を組み上げている。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画の内容に則った支援を行っている。ケース記録を毎日作成し、計画の進行状況を確認しながら日々の支援を行っている。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月会議でテーマ等を話し合い、週ごとに活動プログラムを立案している。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月間プログラムを基に活動内容の工夫を随時行っている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			状態像や嗜好に応じたグループを形成し、集団活動と個別活動のバランスを考えながら計画し提供している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼と各グループごとの打ち合わせにより当日の支援内容、分担を確認している。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			朝礼、夕礼を利用して毎日の振り返り、情報の共有を行っている。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日ケース記録を取り問題点や課題について振り返り、改善に繋げている。
	⑲	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に0回のモニタリング面談を実施。また状態像の変化等に応じて、その都度モニタリング面談を実施。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当職員を参画させている。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保護者を中心に情報収集を行いながら、送迎時等を利用して子どもの情報を収集している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在医ケア等の利用児がいない
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	現在医ケア等の利用児がいない
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて、園に見学に行ったり、連絡を取り合って情報共有している。
	㉕	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			現在、保護者から情報等を得ているが、より豊富な情報を共有するために直接的な連携を図ることが必要。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達障害者事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			市立の児童発達支援事業所との連携により情報共有及び研修を受けている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	近隣保育園との交流は企画段階で実現はしていない。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	現在参加はしていない。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎日の送迎時や面談時に、家庭での状況などの聞き取りや子どもの状況を共有している。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ピアグループとして今年度から実施をしている。
	㉛	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に契約書、重要事項説明書その他に基づいて、面談で分かりやすく、丁寧な説明をしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			契約時及び年1回のモニタリング時に児童発達支援計画の内容を詳細に説明し、保護者からの同意を得ている。
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談は随時受け付け適宜必要な助言と支援をしている。 ・保護者会の回数が年3回、今年はピアグループが1回の実施だったが、保護者同士が交流できる場や相談できる機会を更に増やしたい。 ・今年度からピアグループとして実施している。ピアグループの活動を通して、保護者の悩みの解消等できる場を設けている。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年2回の保護者連絡会を中心に親子遠足、こどもまつり等のイベントを利用し保護者同士の連携を支援した。また、ピアグループの活動も相談支援事業所と連携し開始している。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決受付担当者、責任者の設置を、契約時に説明している。苦情があった際は、苦情解決規定に則り対応している。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報「みらい」を定期的に発行し情報発信をしている。
	③⑦	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			利用契約時に、個人情報の取扱いに関する同意書及び写真等使用許可の同意書を交わし、同意された範囲内で使用している。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			できる限り直接対話を心がけているが、必要に応じて電話や書面、メールなどを活用している。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		10月にこどもまつりを開催し地域住民との交流を図っている。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			緊急時・感染症対応マニュアルは策定している。保護者への周知については、保護者会等で周知するよう努める。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を年1回実施。救命救急訓練を全職員が毎年受講している。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に詳細なアセスメントを行い病歴等の成育歴及び現状を確認している。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時、モニタリング時期にアセスメントで情報収集している。外食時、調理実習等で配慮を徹底している。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月のリスク委員会で検討再発防止策を話し合い周知している。重要事案には会議を開き迅速な対応を心掛けている。報告書は回覧し、常時閲覧可能にして情報を共有している。
④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			全職員参加で研修を年1回実施。チェックリストの実施と研修報告書の提出を義務付けている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	④⑤	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			法人として虐待防止マニュアルがあり整備されている。また個別支援計画に記載し保護者への事前説明を行う準備を整えている。